

第三十回帝國議會
衆議院

裁判所構成法中改正法律案外四件委員會會議錄(筆記)第一回

委員成立

本委員ハ大正二年三月八日議長ノ指名ヲ以テ左ノ通り選定セラレタリ

鵜澤	總明君	秋岡	義一君	佐々木	文一君
福岡	世徳君	則元	由庸君	松田	源治君
横田	千之助君	翠川	鐵三君	岩崎	總十郎君
土方	千種君	高木	益太郎君	花井	卓藏君
福田	又一君	阪本	彌一郎君	矢島	浦太郎君
高橋	久次郎君	黒須	龍太郎君	笠原	忠造君
鵜澤	總明君	翠川	鐵三君	福田	又一君
福岡	世徳君	岩崎	總十郎君	阪本	彌一郎君
則元	由庸君	土方	千種君	矢島	浦太郎君
松田	源治君	高木	益太郎君	黒須	龍太郎君
横田	千之助君	花井	卓藏君	佐々木	文一君

年長者福岡世徳君投票管理者トナル

○投票管理者(福岡世徳君)ハ委員長及理事ノ互選ヲ行フヘキ旨ヲ宣告ス

○岩崎總十郎君ハ投票用井ス鵜澤總明君ヲ委員長ニ推薦シ理事ハ委員長ノ指名ニ任スヘシトノ意見ヲ提出ス

○投票管理者(福岡世徳君)ハ岩崎君ノ意見ニ異議ナキヲ認メ鵜澤總明君ハ委員長ニ當選セラレタル旨ヲ宣告ス

○委員長(鵜澤總明君)ハ横田千之助君高木益太郎君及矢島浦太郎君ヲ理事ニ指名シ引續キ會議ヲ開ク旨ヲ宣告ス

會議

出席政府委員左ノ如シ

司法次官 法學博士小山 溫君

司法省民事局 齊藤十一郎君
司法省參事 豐島 直通君
司法學博士 鈴木喜三郎君
司法學博士 長法學博士

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

裁判所構成法中改正法律案
裁判所廢止及名稱變更ニ關スル法律案
裁判所管轄區域ニ關スル法律案
判事懲戒法中改正法律案

(以下述記)

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 是ヨリ裁判所構成法中改正法律案ノ委員會ヲ

開キマス

○法學博士花井卓藏君 政府ノ説明ヲ求ムル程ノ案アリマセヌ、屢々議會ニ出デタル案アリマシテ、而カモ議院提出案トシテ最モ練ラレタルモノアリマス、殊ニ第四十條四十一條五十條五十三條ノ如キモノハ吾々ノ多年ノ要求ガ始メテ此案ニ現ハレタ次第アリマスカラシテ、今問題ニナツテ居リマス案ノ中デ、裁判所構成法中改正法律案ハ全部賛成、寧ロ討論ヲ用井ズシテ採擇セラレンコトヲ希望致シマス、是ハ二十年來院內ニ現ハレテ居ルモノガ法案ニナツタノアリマス

○高木益太郎君 本案ノ中デ裁判所ノ構成員ニ付テ、大審院ノ七人ヲ五人ニ、控訴院ノ五人ヲ三人ニスルト云フコトデスガ、吾々多年提案シテ本年始メテ吾々ノ意見ト政府ノ意見ト一致シタノアリマスノデ、吾々ノ提出シタ改正案ハ撤回シタノデスガ、其他ノ法案ニ付テハ慎重ニ考慮スル熟議ヲ要スルモノト考ヘマス、先ヅ第一ニ第十六條デスガ、區裁判所ノ刑事ニ付テハ裁判權ノ限度ヲ從來ハ一年以下ノ懲役又ハ禁錮、又ハ三百圓以下ノ罰金ニ當ル罪デケラ區裁判所ガ管轄シテ居ッタノデアル、ソレ以上ハ地方裁判所ノ管轄ニナツテ居リマシタガ、一年以下ノ懲役又ハ禁錮ノ件數バカリアツテ、又其以下ノ件數ハ幾ラアリマスカ、又三百圓以下ノ罰金ニ當ルモノガ何件、以下ノモノガ何件アルカ、又其中テ豫審ヲ經タモノト經ナイモノ、區別ハドノ位アリマスカ、是ハ區裁判所ノ判事ノ權限ヲ非常ニ擴張スルコトニナルノデアリマスカ、統計ノ結果ヲ見ナケレバ、現在ノ區裁判所判事ニ是デケケノ權限ヲ與ヘテ良イカ惡イカ憂慮ニ堪ヘナイノデアリマス、過日モ花井博士カラ本會ニ於テ現在ノ區裁判所判事ニ向テ此法律ヲ執行スル上ニ於テハ餘程心配アルト云フ御説モアツタ通りデ、本員モ其感ヲ同ウスルノデアリマスカ其統計ヲ一ツ御示ヲ願ヒマス、同時ニ上級審ニ於テ破毀又ハ取消ニナツタモノガドノ位アルカト云フコトモ示シテ貰ヒタイ、ソレカラ今度ノ構成法ノ第十五條ヲ改正シテ、其改正ノ結果ハ少クトモ判事二百三十二人ニ休職ヲ命ズルヤウナ結果ニナル、是ハ二百三十二人ヲ限ルト云フノデアリマスカ、必ズシモ二百三十二人デナク、百八十九人位ニ止マルノデシヤウガ、免ニ角休職ヲ命ジタ結果ハ、區裁判所ノ取扱フベキ事柄ニ付テハ非常ニ差支ラ生ジヤシナイカ、今日司法部ノ有様ヲ見ルト、最モ遺憾ニ思フノハ區裁判所ノ取扱フベキ非訟事件、未成年者、癡癲者、白痴者、失踪者、禁治產者、準禁治產者ニ對スル保護ガ甚ダ不充分ニ考ヘル、唯親族會員ノ選定ノ如キニ止ツテ、若シ親族會ノ申請ヲシナイ、未成年者トカ保護者ノナイ氣狂、馬鹿、失踪者、禁治產者、準禁治產者等ニ對シテハ、區裁判所ハ殆ド保護ノ實ガ舉ゲテ居ラヌヤウデアル、ソレカラ後見人、後見監督人、管財人ニ對シテドウ云フ具合ニ區裁判所又ハ區裁判所檢察官監督ヲシテ居ルノデアルカ、偶々幼者ノ事件坏ガアルト云フト、今日ハ檢事ノ立會フモノガ殆ドナイ實況デアル、法律ヲ見ルト必ズ檢事ガ立會フテ意見ヲ述ベルコトニナツテ居リマスカ、檢事ハ立會ハナイ、唯檢事ハ刑事ノ事件ニ付テハ全力ヲ注イデ居ラレマスカ、未成年者、風癲者、白痴者、失踪者、禁治產者、準禁治產者ニ對シテ

ハ、後見人、後見監督人ニ付テ檢事ハドウ云フ監督ヲ行ツテ居ルカ、是モ聽キタイ、ソレカラ檢事ノ立會ノ事件ト立會ハナイ事件トノ統計モ見テ置キタイ、デアリマス、ソレデスノ如ク法律ガ命ジテ爲スベキコトモシナイ次第デアリマス、ソコニ持ッテ來テ二百人以上ノ判事ニ休職ヲ命ジテ、果シテ司法機關ノ運用ニ差支ヲ生ジナイカト云フコトヲ聽イテ置キタイ、ソレカラモウ一ツ裁判所ノ廢合ヲスルヨリハ、判檢事ノ兼職ヲ命ジテ、裁判所ハ其儘置イテ役人ヲ活動スル範圍ヲ廣クスル、例ヘバ電車汽車ノ交通機關ノ發達ニ依テ、今マデ違ッテ區裁判所ノ間ノ往來交通ガ困難デアツタモノガ容易ニ往ケル次第ニナツタデアリマス、今マデ二人ノ判事ガ一ツノ區裁判所ヲ持ッテ居ツタモノヲ、二ツノ區裁判所ヲ受テ、裁判所ハ其儘存シテ置イテ、判事ノ職務ノ活動ノ範圍ヲ廣クシテ、横濱ノ裁判所ノ判事ガ小田原ノ區裁判所ノ仕事モスルヤウニスルコト云フヤウナコトヲ、何故ニ司法省ハ採リナサナカッタデアルカ、又ハ一面ニ於テハ裁判所ノ廢合案ノ上ノ方カラ出スト云フト——昨日ノ本會ノ日程ヲ見ルト、裁判所ノ増設ノ建議案ヲ請願委員長ガ理由アリシテ可決シテ居ル、其外ドシ、此ノ裁判所ヲ増シテ吳レト云フ請願ガアル、是レハ人民ノ方デ以テ裁判所ノナイタメニ非常ニ不便デアルカ、斯ノ如ク請願ガ出テ居ルガ、裁判所ハ動かサナイ役人ノ方ヲ活動セシムル方針ヲ司法省ハ御採リナリマス、御取リニナラヌカ、御取リニナラヌナレバ何故ニツレハ、御取リニナラヌデアルカ、此點ニ就テ充分説明ヲ求メタイ、ソレカラモウ一ツハ此ノ裁判官ノ轉免ハ憲法ノ十八條ノ第二項ニ依ツテ、裁判官ハ刑法ノ宣告又ハ懲戒ノ處分ニ據ルノ外其職ヲ免ゼラルコトナシト云フコトヲ規定シテ居ル、是レハ他ノ行政官ト違ッテ、裁判官ノ獨立ノ保障ノ規定デアル、然ルニ此度ノ案ヲ見ルト、政府ノ行政整理ノ都合ニ依ツテ二百三十二人ト云フモノヲ休職ヲ命ズルコト云フヤウナコトニナル、此ノ結果ハ憲法違反ノ嫌ナキヤ否ヤ、此點ニ就テ私ハ充分一ツ説明ヲ求メタイ、ソレカラ第二十一條ニ豫審判事ト云フモノハ重要ナモノトシテ、毎年度ニ司法大臣ガ豫審判事タル人ヲ指定スルコト云フコトニナツテ居ル、構成法實施以來其ノ規定ヲシテ居ルニ、此度之レヲ削ルハ何ウ云フ次第デアルカ、此點ニ於テ私ハ提案者ノ政府ノ説明ヲ求メテ置キタイ、ソレカラ其次ニハ地方裁判所及ヒ控訴院ハ第二審判決ニ對スル上告ヲ大審院ニ持ッテ來ル、是レハ一面カラ云ヘバ法律解釋ノ統一ノ上ニ於テハ必要カ知リマセヌガ、實際ノ事務ノ上ニ何カ差支ガ起ルコトガアルカ、ナイカ及ヒ控訴院地方裁判所ガ第二審ノ判決ニ對スル上告ヲ持ッテ來ル以上ハ、大審院ノ部ノ組織ハ從來ノマ、行カヌデセウカ、何部クラ非増スノカ、其點ニ於テ政府ガ調査セラレタルモノガアツタ聽イテ置キタイ

○法學博士花井卓藏君 折角高木君ノ質問モアリマシタカラ、主ナルコトニ就テ意見ヲ尋ネテ置キマスガ、第一一昨日ノ本會ニ於テ質問ヲイタシテ置キマス區裁判所ノ判事ヲ解免スルコト云フ方法ハ、最早具體的ニ司法省ニ於テ協議ガ熟シテ居ルデアリマセウカ、ソレカラ又現在ノ區裁判所判事ニ託スル改正案ノ如キ權限ヲ以テスルコトハ認メテ居ルガ、是レガ一ツ、第二ニハ裁判所ノ構成法七十五條ニ法律ヲ以テ裁判所ノ組織ヲ變更シ、又ハ之レヲ廢シタル場合ニ於テ其判事ヲ補スベキ關位ナキト司法大臣ハ之ニ俸給ノ半額ヲ給シテ關位ヲ待タシムルノ權ヲ有ス、斯ウ云フ規定ガアル、一昨日日本會デ質問シタル構成法ノ規定ト云フノハ此ノ七十五條ノコトデアル、此ノ七十五條ノ

場合ト改正案ノ——改正案ト云フノデナクシテ判事及檢事ノ休職並ニ判事ノ轉所ニ關スル法律案中ニアル第一條トノ關係デアリマス、構成法ノ本法ニ依ルト司法大臣ハ然ルニ判事及檢事ノ休職云々ノ法律案ニ依ルト大審院ノ總會ノ決議ヲ經ルト云フコトガ加ツテ居リマス、私ノ問ハント欲スル點ハ構成法ノ七十五條ノ場合ニ於テモヤハリ大審院ノ總會ノ決議ヲ經ルト云フ保障ノ規定ガアル方ガ宜カラウト思フ、近キ將來ニ於テ、又ハ直チニ構成法七十五條ノ方モ大審院ノ總會ノ決議ニ付スル御見込デスカ、是モ本會ニ問ヒマシタガ、要領ヲ得ズシテ終ツタカラ、之レヲ重ネテ明ニ御尋ネシテ置キタイ、ソレカラ第三ニハ轉所ノコトデスカ、轉所ハ憲法並ニ裁判所構成法ニ於テ懲戒ノ場合ニアラザレバ命ズルコトノ出來ザルコトニナツテ居ルデアル、本案ノ裁判所構成法中改正法律案ノ第七十四條ノ二ニ於テ、司法大臣ガ事務上ノ必要ヲ認メタル場合ニ於テハ、控訴院又ハ大審院ノ總會ノ決議ニ依ツテ隨意ニ轉所ヲ命ズルコトニナツテ居ル、轉所ノ保障ト云フモノハ全部無クナルコトニナルデアル、斯ノ如キ事柄ハ憲法並ニ裁判所構成法ノ精神ニ背カザルモノト認メラル、ヤ否ヤト云フ點ニ付テ意見ヲ聽イテ見タイ、ソレカラ第四ニ總括シテハアリマスガ、大審院ト云フモノ、權限ハ如何ナルモデアルカ、問フマデモナク、答ヲ得ルマデモナク私ハ能ク知ツテ居ル、政府委員モ知ツテ居ル、知ツテ居ルカラ此ノ問ヲナス、大審院ト云フ所ハ法令上如何ナルコトヲ爲ス所デアルカ、控訴院ト云フ所ハ法令上如何ナル事ヲ爲ス所デアルカ、案ニハ大審院ノ總會ノ決議ト云フ事柄ハアルガ控訴院ト云フコトハナイ、控訴院又ハ大審院ノ決議ニ依ルト云フコトガ案ニハナイ、大審院長ハ大審院ヲ監督スルモノデアツテ、控訴院長ハ控訴院ノ管内ノ總テコトヲ監督スルコトニナツテ居ル、仕事ハ大審院ハ法律ノ統一ヲ圖ル場所デアツテ、其ノ進退處置ヲ爲スベキ場所デナイ、保障ノ規定ハ私ハ司法大臣自ラ行フ外ニ同僚ノ決議ニ依ルト云フ保障ハ必ズシモ惡イトハ思ハナイ、併ナガラ控訴院ヲ除外シテ大審院ノミニ之ヲ專屬セシメ理由ガサツバリ分ラヌ、殊ニ構成法ノ休職其他決議ニ關スル條文ヲ讀ンデ見ルト、大審院ト控訴院ト二ツナケレバナラヌト私ハ思フ、是等ノ點ニ付テ政府ノ意見ヲ聞キタイ、意見ハ無論アルデセウ、ナケレバ憲法構成法ノ條規ヲ紊ツタリ、大審院ノ執ルトコロノ權限ヲ無視シテ斯フ云フ案ノ出ル譯ガナイ、案ニハ私ハ全然贊成スルコト云フコトヲ申シテ置キマス、安心シテ御答ニナツテ宜シイ、私ハ全部案ニハ贊成致シマスガ、政府委員ノ知識モ知リタイシ、竝ニ此大改革ヲ行ハレシ後ノ覺悟モ能ク承ツテ置キタイガ故ニ質問スルデアリマス

○政府委員(法學博士小山溫君) 私ハ少シ遲刻致シマシテ、高木サンノ御問ノ中ニ御聞キ致サナカッタ所ガアリマス、他ノ政府委員カラ御答ヲ致シマス、他ノ政府委員ノ答ノ方ガ便利ナ所ガアルト思ヒマス、先ヅ私ノ承ツタケノ御答ヲ致シマス、高木サンノ御問ノ中最モ大キナ問題ガ一ツゴザイマス、ソレハ憲法ト此休職云々ノ法律トノ關係、憲法ニ依レバ其第五十八條ノ第二項ニ「裁判官ハ刑法ノ宣告又ハ懲戒ノ處分ニ由ルノ外其職ヲ免ゼラルコトナシ」斯ウアルノデゴザイマス、ソコデ若シ此憲法ノ條文ガ裁判官ノ官職モ刑法ノ宣告又ハ懲戒ノ處分ニ由ルノ外、如何ナルコトガアツテモ失ヒ又ハ變更ヲ生ズルコトガナイ、斯ウ云フ意味ニ解釋シマスレバ此休職案ト云フモノハ憲法違反ノモノデ、到底御話ニナラヌ、ソレカラ若シ又憲法ノ條文ハ職ト云フ文字ガ書イデア

ケレドモ、是ハ裁判官ノ官ヲ失ハシメルモノデアル、今官職斯ウ區別シテ云フ官ノ意味デアル、職ノ意味デハナイ、ソレデアルカラ判事ハ終身刑法ノ宣告カ懲戒ノ處分デナケレバ何時迄モ居テ、唯其職ハ免ゼラレテモ已マラ得ナイ、斯ウ解釋致シマスレバ、是亦單ニ判事タル虚名ヲ存シテ如何ナルコトモ法律ヲ出來ル譯ニナル、私等ノ所見ニ依リマスレバ、其說ハ雙方トモニ極端ニ走ラテ居ルモノデアルト信ズルノデアリマス、如何ニ憲法ガ裁判官ニ保障ヲ與ヘマスト見タコトガ、例ヘバ裁判官ガ氣違ニナツタ、或ハ老耄シタ、ソレデモ尙ホ裁判官トシテ就職セシメテ裁判ヲセシメネバナラヌト云フ意味ヲ持テ居ルモノトハ、ドウシテモ常識ノ上デ解釋ガ出來ヌノデアリマス、精神喪失者老衰者ト云フモノヲ判事トシテ裁判セシムレバ、實ニ危險ノ甚シイコトデアリマシテ、憲法ガサウ云フモノモ尙ホ官モ職モ保タセテ置イテ、サウシテ裁判ヲセシムルト云フ意味デナイコトハ明瞭デアラウト信ズルノデアリマス、ソレデモゴザイマスカラシテ、一番前ノ說ノ官モ職モ一切ドウスルコトモ出來ナイノデアアル、ドウカスルノガ刑法ノ宣告ト懲戒ノ處分デケダト云フノハ、到底成立シ得ベキ說デナイト信ズルノデアリマス、氣違ニナリマシタ、之ヲ懲戒シヤウガナイ、ソレデモゴザイマスカラサマデニ窮屈ナルモノガ、現ニ今日行ハレテ居リマスル構成法ニモ七十四條ニ退職ノ規定ガアルノデアリマス、七十四條ニハ「判事身體若ハ精神ノ衰弱ニ因リ職務ヲ執ルコト能ハサルニ至リタルトキハ司法大臣ハ控訴院又ハ大審院ノ總會ノ決議ニ依リ之ニ退職ヲ命スルコトヲ得」ト云フ規定ハ敢テ憲法ニ背カナイモノデナイトシテ現行法トシテ存在スルモノト信ズルノデアリマス、又憲法ニ背カナイモノト信ズルノデアリマス、ソレカラ又一方ノ官サヘ置イテ置ケバ、虚名ヲ存シテサヘ置ケバ、判事ト云フ名サヘ付ケテ置ケババシナコトヲシテモ構ハヌカ、憲法ノ精神ニ背カナイカ、斯ウ申シマスルノニ、是モ私共ノ信ズル所ニ依レバ極端ナル說デアッテ、ソレモイカヌト思フノデアリマス、例ヘバ此憲法ニアリマスルノハ其職ヲ免ゼラル、コトナシトゴザイマシテ、之ヲ官ト解シマシタコトガ職ト解シマシタコトガ、俸給ノコトニ付テハ何等ノ規定ガナイノデアリマス、ソレデモゴザイマスカラ、法律ニ依リマシテモ、或ハ勅令ニ依リマシテモ、俸給ノコトヲ定メマスルノハ一向背クコトモ何ニモナイ、ソレデモゴザイマスカラシテ、此明文上カラ申シマスルト、無給ニ致シマシテ一向差支ナイコトニナリマス、此後ノ說ニ從ヒマスルト、然ラバ判事ノ虚名ヲ存セシメテ無給ニシテモ宜シイカ、憲法ノ精神ニ背カヌト申シマスノニ、私ハ其說モ宜シクナイ說デアラウト信ズルノデアリマス、氣違ニナリマシタリシ、或ハ老衰ヲ致シマシタ場合ニハ、ソレハ致方ガゴザイマスマイガ、サモナイモノヲ俸給ヲ漫ニ減ジマシタリ、或ハ無給ニ致シタリト云フコトモ亦憲法ノ精神デナイ、斯ウ云フコトヲ信ズルノデアリマス、然ラバ標準ヲ何處ニ置クカト云フコトニナリマスガ、其標準ハ何處ニ在ルカト云ヘバ、詰リ行政官ニ左右セラレナイ、安心シテ獨立ノ意見ニ依テ裁判ヲスルト云フコトガ標準デアラウト思フノデアリマス、行政官ノ勝手ニ或ル裁判ヲ命令ニ依ッテサセヤウト云フヤウナコトヲ避ケルタメニ、此憲法ノ條文ト云フモノハ編出サレテ居ルト信ズルノデアリマス、サウ致シマスレバ今般提出ニ相成リマシタルコトヲ休職ノ條文ト云フモノモ、敢テ憲法ニ抵觸スルコトハナイト信ズルノデアリマス、現行ノ構成法ト均シク敢テ憲法ニ抵觸スル所ガナイト信ズルノデアリマス、併シ之ヲ直ニ無給ニスルト云フコトデアリマスレバ、前ニ私ノ申シタコトガ若シ正シイトセバ、憲法ノ精神ニ背クコトニハナリマスケレドモ、此案ニハ少クトモ二分ノ一ノ俸

給ヲ與ヘルノデアリマス、職務ハ執ラヌデ遊ンデ居ッテ三分ノ一ノ俸給ハ貰ヘルノデアリマス、敢テ減俸ト云フ譯デモナカラウト思フノデス、仕事ヲシテ居ッテ減額ヲシテ貰フ、遊ンデ居ッテ三分ノ一ヲ貰フ、ドッチガ宜イカ分ラヌト思フノデアリマス、ソレデモ無給ニシテ宜イト云フ說モ無論ゴザイマスガ、私ハソレハドウカト思フノデアリマス、而モ今回ノハ其休職ヲ命ズルノモ、ヤハリ行政官ガ氣ニ入ラヌ者ヲ罷メサセテ氣ニ入ル者ヲ殘シテ置クト云フヤウナコトガアッテハ、行政官ガ裁判官ニ干渉スルヤウナ嫌ガアリマスカラ、裁判官ノ地位ヲ動かサヤウナ嫌ガアリマスカラ、ソレデモ最高ノ裁判所デアルトコロノ大審院ノ決議ヲ要スル、斯ウ云フ保障ヲ之ニ加ヘタノデアリマス、是ガ無イトモ私ハ憲法ニ背クトハ思ヒマセヌガ、殊ニ憲法ノ精神ヲ重シテ斯ル規定ヲ置イタノデアリマス、此事柄ハ此法律案ノ成リマスルマデニ隨分攻究セラレタル問題デアリマシテ、說ヲ盡シメルト云フ思召デゴザイマスレバ大分長クナリマスルガ、大抵其要ハ盡シタモノト思ヒマスカラ、此位デ止メテ置キタイト思ヒマス、ソレカラ其次ニ轉所ノ問題デゴザイマス（松田源治君「簡單ニ願ヒマス」ト呼フ）簡單デ宜ケレバ簡單程私ノ方デモ宜シウゴザイマス、轉所ノ問題ハ是ハ構成法ノ……

○法學博士花井卓藏君 發言中デスガ私ニ一言御許シテ願ヒタイ、私ハ質問スルノニ事項ノミノ質問ヲシタ、今小山次官ノ答辯ヲ聽クト、必シモ正鵠ヲ得タル論デハナイケレドモ、憲法上ノ議論ヲ一ツ列ベテ、ソウシテ自分ノ信ズル結論ヲ言フト言フヤウナ工合ニ、小山君ノ議論ヲ紹介スルト同ジヤウナコトデアアル、吾々ハ此法案ニ對シテ憲法的理論ヲ研究スルニアラズシテ、政府當局ノ此案ヲ出サレタ點ニ關スル政府ノ所信ヲ尋ネ、並ニ法案ト憲法ト抵觸スルヤ否ヤト云フコトニ對シテ吾々モ高木君モ尋ネテ居ルノデアリマスカラ、說ハ甲說アリ乙說アリ、余ハ乙說ヲ可トスルト云フヤウナ長イ御説明ハ、此議會デハ必要ガアルマイト思フ、一瀉千里デ吾々ハ質問ト贊成ト兩方ノ意見ヲ述ベテ居ルノニ、ソナナ長タラシク述ベラレルヤウデハ、吾々モ質問ノ理由ヲ述ベルヤウニ改正ヲシタイト思ヒマス

○政府委員（法學博士小山溫君） 花井サンノ御質問ハサウ云フ風ニナッテ居タト思ヒマスガ、高木サンノ御質問ハ少シ違ッテ居タト思ヒマスカラ長ク述ベタノデアリマスガ、サウ云フ思召デゴザイマスレバ、轉所ノコトモ敢テ憲法ニ抵觸スルコトナシト云フ意見デゴザイマス、ソレカラ待命ノコトニ付テハ本議場デモ御答シテ置イタト思ヒマスガ、待命ニ付テハ構成法デ總會トカ何ト云フコトハゴザイマセヌガ、是ハ暫ク命ヲ待タシメテ置イテ、復職セシムルト云フ精神デゴザイマスルカラ、或ハ廢サレタ裁判所或ハ變更サレタ箇所ガ命ヲ待ツコトニ自然ナルノデアリマスカラ、行政官ノ勝手ニ動かヌコトニナリマス、ソレデモ總會ノ決議ハ要セヌ、今度ハ何所ト云フ限リガゴザイマセヌカラ總會ノ決議ヲ要スル、斯ウ云フコトニナツタノデアリマス、ソレカラ大審院ノミノ決議トシテ控訴院ヲ省イタノハ何故カト云フト、是ハ大審院ガ最高ノ裁判所デアリマスカラ、最高ノ所ノ決議ヲ經マスレバグット下マデ行ク、鄭重ニ行クト云フコトニナルノデアリマスカラ、差支ナイ積リデアリマス、ソレカラ區裁判所判事ノコトニ付キマシテ、是モ本會デ大臣ヨリ答ヘラレマシタ通り、成ルベク今ノヤウナ選任方法デナイコトニシタイト云フコトデ調査中デゴザイマスガ、サレバドウスルト云フコトマデハ具體的ニ御答ヲ致シ兼ねマス

○法學博士花井卓藏君 今ノ點ニ付テモウ一ツ伺ヒマスガ、大審院ガ最高ノ裁判所デアルカラ之ニノミ任セルト云フ御答アル、私ハ大審院ト云フ所ハ大審院限リノコトニナッテ居ル人ヲ目的物トシテ會議ニ上ボセルノデアリマスガ、是ハ最モ能ク知ッテ居ル者ガ決議ヲセテケレバ效果ノナイ譯デアラウト思フ、控訴院デアッタナラバ其所屬管内ノコトナラバ事務ノコトモ分レバ人ノコトモ分ル、ソレガ決議ヲスルト云フコトデアラナラバ神髓ヲ得ルコトガ出來ヤウト思フケレドモ、假令最高ノ判官ナリト雖モ、大審院ハ全ク控訴院以下ニ付テハ法令上沒交渉ニナッテ居ル、ソレ私ハ控訴院ト云フモノヲ此處ニ加ヘルコトガ至當ノヤウニ考ヘラレマスガ、唯最高ト云フケデ、全ク事務ノ上ニ沒交渉、人ノ上ニ沒交渉デアルトコロノ大審院ガヤルト云フコトハ分ラヌデアリマスガ、最高ト云フ理由以外ニ何モ理由ハ無イデスカ、ソレモ構成法ニ似タル規定ガアル、大審院控訴院ト云フ規定ガアル、ソレモ參照シテ御答ヲ願ヒタイ

○政府委員(法學博士小山溫君) 御答ヲ致シマスガ、詰リ最高ノ裁判所ト同ジコトニ歸スルカ知リマセヌガ、七十四條ニアル精神身體ノ衰弱ト云フコトヲ決定スルニハ、其屬スル控訴院、ソレカラ其上ニナルト大審院ト云フコトニナッテ能クハアルノデスカ、今度ノ二百三十二名ト云フノハ、精神身體ノ衰弱ト云フ事實デゴザイマセヌデ比較研究ノ話ナンドス、比較的ドウダラウト云フ話ニナリマスガ、全國ヲ見渡スト云フコトニナラナケレバ分ラヌ、ソレデ控訴院ニナリマスト語弊ガアリマスガ、割據主義ニナルト云フ風ガゴザイマス、彼方デアレヤレバ此方デ之ヲヤラヌト云フ風ニナリマスガ、實行上都合ガ惡ルカラウト思フノデス

○法學博士花井卓藏君 大審院デ何人減リマスカ

○政府委員(法學博士小山溫君) 先ヅ凡ソノ見込デ二人減ル積リデアリマス

○法學博士花井卓藏君 人ハ分リマセヌカ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 花井サンノ御質問ニ對シテ私カラ他ノ部分ニ付テ御答致シマスガ、花井サンノ第一ノ御尋ノ表ノ點デアリマス、此點ハ統計表ニハ出テ居リマセヌデアリマスガ、一々調査致シマスト非常ニ長イ時間ヲ費スコトニナリマスガ、御希望ニ添ヘマス爲メニ斯ウ云フコトヲ申上ゲル方ガ宜カラウト思ヒマス、今度ノ改正案ニ依ッテ地方裁判所刑事事件ニシテ區裁判所ノ權限ニ移ルベキ件數ガ何件アルカト云フコトヲ申上ゲタラ宜カラウト思ヒマスガ、其件數ヲ申上ゲマス、ソレハ地方裁判所カラ區裁判所ニ移リマス刑事事件ハ二万五千九百七十七件ト相成リマス、而シテ現在ノ權限ニ依リマス區裁判所ノ件數ハ八万二千二十五件、此統計ハ明治四十二年ノ一月カラ大正元年ノ十二月ニ至ル三箇年ノ平均數デアリマスガ左様御承知ヲ願ヒマス、次ノ御尋ノ區裁判所刑事事件ニ對スル上告申ノ取消及棄却ノ件數デアリマスガ、明治四十年カラ四十五年マデノ五箇年平均デスカ、取消ノ件數ガ千七百九十八件、棄却ノ件數ガ二千五百十四件、斯様ニナッテ居リマス、第二ノ御尋ネノ區裁判所刑事若クハ檢事ノ非訟事件ニ付テ未成年者ニ對シテ監督權ヲ行ッテ居ルカ否ヤト云フ御尋デゴザイマスガ、裁判所構成法第十五條第一號ノ權限ヲ行ッテ居ルカ否ヤト云フ御尋ト考ヘマスガ、此規定ハ現今實質上廢止ニナッテ居リマス、ソレデ御承知ノ非訟事件手續法テ檢事ガ事件ニ干與スル場合ノ外ハ監督權ヲ實際行フ規定ハナイデス、唯ダ構成法ニ規定

ガアルノデ、是ハ政府ノ意見トシテハ舊民法ノ規定ヲ調和スル爲メノ規定デアッタト思ヒマスガ、是ハ改正セズニ此儘ニナッテ居ッタ次第ト存シマス、次ノ御尋ノ檢事ノ非訟事件ニ立會ツタ實數如何、是ハ統計表デハ分リマセヌ、是ハ更ニ問合ヲ致シマセヌト分ラヌデス、ソレデ其實際立會ツタモノガ分リマセヌケレドモ、非訟事件ニ付テ檢事ガ立會ヒ若クハ意見ヲ附シタル事件ヲ合セテ四十四年度ノ統計ニ依リマス、區裁判所事件トシテハ十四万二千六百六十五件、地方裁判所事件トシテハ千百三十八件デアリマス、是ハ立會フト立會ハズニ意見ヲ附シタル兩方含ンデ居リマス、次ノ監督官ノ兼職ノ件デアリマスガ、是ハ高木君ガ當テ御意見ヲ發表セラレタコトモゴザイマスガ、此點ニ付テハ政府モ充分調査ヲ致シタルデアリマスガ、政府ノ根本的ノ考トシテハ、裁判所ノ監督官ヲシテ成ルベク裁判事務ヲ取扱ハシムル方針デ今度ノ改正案ハ出來テ居リマス、ソレ故ニ行政事務ノ方ハ成ルベク減ズル趣意デゴザイマスガ、此趣意カラ二ヶ所モ三ヶ所モ裁判所ヲ兼職サセルト云フコトハ宜シカラザルモノト認メマシタルデアリマス、ソレ故ニ是ハ此主義ヲ採用シマセヌデス、次ノ御尋ノ二十一條ノ改正デアリマスガ、「毎年」ノ字ヲ削リマシタコトニ付テ御尋デ、是ハ豫審判事申不適當ナデアルト認メマシタトキハ、將來ハ辭令ヲ取消ス方デ補ガ付クコトニ考ヘテ居リマス、最終ノ御尋ノ上告統一ノ點デアリマスガ、成程地方ノ遠イ控訴院所在地ノ人々カラ見マス、大審院ニ統一シマシタコトハ事實上多少不便ナルコトヲ認メマスケレドモ、先程他ノ政府委員カラ申シマシタ通り、上告統一ノ必要上、多少ノ不便ハ忍バネナラヌト云フ意見デアリマス、ソレカラ大審院デハ此結果刑事ヲ通ジテ一部ヲ増ス計畫ニナッテ居リマス、是丈ケ御答致シマス

○政府委員(法學博士小山溫君) ソレカラ高木サンノ遠隔ノ區裁判所ガ出來ル、ソコヘ兼任サシテハドウデアルト云フ御説ト幾分同ジニナリマス、十七條ノ二ノ改正ハ遠隔ニナリマシタ所ニハ出張所ヲ置イテ判事ヲ出張セシメル、斯ウ云フ方法ヲ執ルツモリデアリマス

○法學博士花井卓藏君 裁判所構成法七十五條ヲ適用シタ實例ガアリマスカ

○政府委員(法學博士小山溫君) 記憶ハゴザイマセヌガ、昨年マデ位ハ待命ガアツタ場合ガアリマスガ、ソレハ斯ウ云フノデス、朝鮮ニ聘用サレタモノハ定員外ニナッテ居ル、サウシテ向フガ日本政府ニナリマシタトキニ罷メラレタ、サウニ云フノハコッチヘ歸ッテ來ルト員外ニナリマセヌカラ待命デアッタ、斯ウ云フ實例ガゴザイマス

○法學博士花井卓藏君 モウ一ツ御尋シマスガ、缺員ヲ待ッテ補ハレタ例ハ無イデセウネ結局閑位ヲ待タシムル、其實ハ免ズルト云フコトニナッテシマウデハナイデスカ

○政府委員(法學博士小山溫君) 今ノハ朝鮮ノデゴザイマスガ、補職シタ例ガアル管デス、チャント御答ハ出來マセヌガ、確カニ三人アルト思ヒマス

○法學博士花井卓藏君 ソレハ七十五條デアリマセヌネ……

○政府委員(法學博士小山溫君) サウデス

○法學博士花井卓藏君 其方ノ例ハナイデスカ

○政府委員(法學博士小山溫君) 記憶シマセヌ

○岩崎總十郎君 私モ政府委員ニ御問ヒテ致シマスガ、大審院ノ權限ノ擴張デス、地方裁判所第二審ノ判決ヲ控訴院ニ上告スルコトヲ今般改メラレタノデアリマスガ、法

律ノ統一ヲ圖ルコトハ是ハ論ヲ待タヌコトデアリマスケレドモ、人民ノ不便ヲ助クルタメニ
控訴院ニ總テ上告ヲ扱ハシメル法律が出来タノデ、處ガ此事ニ付テ控訴院ガ判決ヲス
ル場合ニ、辯護士モ裁判官モ大審院ノ判例ヲ基トシテ敢テ支障ヲ見ヌコトガナイト私ハ
思フ、何カ控訴院ガ上告ヲ扱フコトニ付テ法律ノ統一ヲ缺クヤウナ例ガアリマセウカ、ソ
レヲ一ツ承リタイ、ソレカラ西ノ方モ大分サウデアリマセウガ假リニ北ノ方デ言フテ見マス
ルト、北海道ノ上告、詰リ改正法律案ニ依リマス五百圓以下デアリマスガ、二十圓モ
アリ、五十圓モアリ、或ハ五萬圓モアル、北海道ノ上告デモ東京ノ大審院ニ上告シナケ
レバナラヌト云フ非常ナル不便ヲ感ズル、其不便ヲ感ズルモ、尙法律ノ統一ヲ圖ル必要
ガアツデ斯ノ如キ改正案が出タノデアルカ、此ニ點テ政府委員ニ伺ヒマス

○政府委員(法學博士小山溫君) 各控訴院デ區々ニ法律ヲ決シマスル實例ハゴザイ
マスガ、今ドレドウシタト云フコトハ御答ヲ致シ兼ネマス、ソレカラ上告統一ト云フコト
ハ主モニ理論カラ來テ居リマスシ、アレハ惡ク言ヒマス書生論ト云ヒマスガ、理論カラ來
テ居リマスガ、實際ニシテモ交通ノ便利ガ大分開ケマシタカラ、二十三年時代ニ控訴院
へ來ルノト、今日大審院へ來ルノト非常ノ隔絶デハナイト云フコトガ一ツ、ソレカラ大審
院ハ今迄詰リ民事ト申スト二百圓以上ノ訴訟ハ上告が出来マシタノデ、ソレニ若シ
今度上告ヲ控訴院デスルコトニ致シマス、二百圓カラ五百圓迄、今迄上告ヲ大審院
デシテ貰ヘタノガ、大審院ノ判決ヲ受ケルコトが出来ナクナルコトニナリマスカラ、ソレモ惡
イト云フノデ大審院へ上告ヲ統一スルコトニナリマスガ……

○岩崎總一郎君 チョット聽漏シマシタガ、控訴院デ上告ヲ扱ツタ爲ニ法律ノ統一ヲ
缺ク例ガアツタト仰シヤルデスカ

○政府委員(法學博士小山溫君) ハー

○阪本彌一郎君 チョット御聽キシタイ、少シ後レテ來マシタカラ既ニ誰カ尋子タ人ガア
レバ速記録ヲ見テ承知シマスガ、今ノ判事ノ一人當テノ事務ガ平均大概ドノ位ニナッデ
居リマスガ、ソレカラ此構成法ヲ改正サレマシテ、サウシテ二百三十二人ヲ減ラセバ、一
人當ノ事務ガドノ位ニナリマスガ、件數ガ……

○政府委員(法學博士小山溫君) 是ハハッキリ申シ上ゲルコトハ出來マセヌガ、今迄
ヨリ一人當テノ件數ヲ減ズル積リナシ、即チ事務ノ濫滯ヲ防グ積リデアリマス、例ヘハ
今迄區裁判所ノ判事ハ略六六件ニ一人ヲ五百件ニシタイ、斯ウ云フ考ヘ、以下御
類推ヲ願ヒタイノデアリマス

○阪本彌一郎君 是迄事務ノ濫滯シタコトハ無論當局者モ御承知ノ事ト思ヒマス
ガ、ソレヲ約一割半カニ割減シテ事務ガ敏捷ニ行ハレル御考デアリマセウカ

○政府委員(法學博士小山溫君) サウシタイ積リデアリマス

○阪本彌一郎君 行ハレル御考デアリマスガ

○政府委員(法學博士小山溫君) 其積リデアリマス

○翠川鐵三君 司法大臣ハ區裁判所ニ屬スル事務ノ一部分ヲ取扱フタメ區裁判所
ニ出張所ノ設置ヲ命ズルコトヲ得ト云フ百七十條ノ規定デアリマスガ、之ヲ今度廢スル
ト云フ、區裁判所ニ向ッテハ大概出張所シテ事務ヲ扱フト云フヤウナ大體ノ御方針デ
スカ、實地問題デスカラ、能ク之ヲ明カニシテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 其點ハ誠ニ御尤モナ御尋ネデアリマス、勿論
今度ノ廢合案ニ依テ廢シマスル區裁判所ニハ、ドレニモ必ズ登記事務ガケハ取扱ハシム
ル積リデアリマス、本條ニ依リマシテ、ソレカラ又極ク遠隔ナ不便ナ場所、例ヘバ父島八
丈島ア、云フ遠隔ナ島地等ニ於キマシテ、定期ニ巡廻裁判ノ形デ裁判事務ヲ行ハシム
ル考ヲ持ッテ居リマス

○翠川鐵三君 尙重ネテ御尋ネシマスガ、是ハ理窟ノ問題デナイノデアリマス、必ズ議
論ノ種ニナルダラウト思フ、委員會デハ左マデノ議論ニハナルマイト思フガ——今茲ニ豫
テ御廻シニナッテ居ル廢合一覽表ヲ見ルト、三角ノ付テ居ル所ハ今事務ヲ執ッテ居ラヌ
斯ウ云フヤウナ所トカ、或ハ汽車等ノ開通シテ居ル極メテ便利ナ、又曾テ裁判事務ノ閑
散ノヤウナ場所ニ於テハ、絕對ニ廢止スルヤウナコトモ宜カラウト思ヒマスガ、然ラザル島
等ノ如キハ固ヨリデアリマスガ、殆ド陸上デ居ッテ島國ト同ジヤウナ交通不便ナ場所モア
ルノデアルガ、ソレ等ノ場所ニ付テハ此出張事務所ハ島國ヲ除ク外ハ、大概主義トシテ
ハ出張所ヲ設ケナイ御考デアアルカノヤウニ唯今承ッテ居リマス、尙念ヲ入レテ御答辯ヲ煩
ラハシタイ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 言葉ガ少シ足リナカッタカモ存ジマセヌ、ソレ
デ島國等ト云フ字ヲ入レタノデ、仰セノ通りニ島ヨリモ却テ不便ナ所モゴザイマス、ソレハ
認メテ居リマス、左様ナ場所ニハ成ベク出來ルダケ此經費ヲ節約シマシテ、出張所ノ設
置ヲ致シテ出張裁判ヲサセル見込デアリマス

○阪本彌一郎君 此區裁判所ノ權限ヲ擴張シタニ付キマシテハ、從來アル支部ナドヲ
御廢シニナル御考ガアルカドウカ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 從來ノ支部ハ成ベク存置致ス考デアリマス
ガ、區裁判所ノ民事刑事ノ權限ガ擴張セラレマシタ結果、支部ニ於テ取扱ヒマスル事
件ハ大概其豫審事務ダケニシタイノデアリマス、其外ノ事件ノ數ハ至ッテ少ナウゴザイマ
スカラ、ソコニハ三人モ四人モ判事ヲ置クコトハ甚ダ不經濟デアリマスカラ、主トシテ豫審
事務ヲ取扱ハセル見込デアリマス

○法學博士花井卓藏君 此案ハ解釋ノシヤウニ依ッテハドウデモ見エルノデスカ、少ク
モ行政整理ノ意味モアルト認メラレルノデアリマス、本會ニ於テモ質問ヲシテ置イタノデア
リマスガ、問ノ趣意モ進ンテ居マセズ、隨ッテ答モ明確ヲ缺イテ居ッタンデアリマスガ、此
改正ノ結果、減ズベキ數字ヲ一ツ明瞭ニ承ハリタイノデ、例ヘバ大審院ニ於テ幾人ヲ減
ズルガ故ニ幾何ノ俸給ガナクナル、控訴院ニ於テハ如何、地方裁判所ニ於テハ如何、區
裁判所ニ於テハ如何ト云フコトヲ、一ツ表デモアレバ御示シテ願ヒタイト思フ

○政府委員(法學博士小山溫君) 今御答シマセウカ、表ヲ差上ゲマセウカ

○法學博士花井卓藏君 答ヘテ貰ッテ表ヲ御廻ハシテ願ヒタナラバ、尙ホ能ク分ルト思
ヒマス

○政府委員(法學博士小山溫君) ソレデハ大略申上ゲマス、増減ガゴザイマスガ、此
判事檢事書記等共俸給ダケ四十二萬六千幾ラ減ジマス、ソレカラ廳費等ガアリマス、
ソレガ八萬二千幾ラ減ジマス、ソレニ此休職ヲ命ジマスルノデ十七萬幾ラデ、亭デニ申シ
テ置キマスガ、今日先日ノ速記ヲ見マシルト、休職給二百五十萬トアリマス、私ガチョット

言ヒ誤リヲシタカモ知レマセヌガ、アレハ差引二十五萬圓ノ額デ四十二萬ノ二ヲ省キ百七十萬ノ二ヲ省イテ四十萬圓ト十五萬圓ト、斯ウ申上ダタ積リテアリマス

○翠川鐵三君 尙ホ私ハ政府委員ニ御尋シテ置キタイガ、今ノ區裁判所ノ廢止ノ結果トシテ出張事務ヲ取扱ハセルト云フ事柄ハ、其箇所等ハ大概御内定ニナツテ居リマス

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 其箇所ハ未ダ取調中デゴザイマシテ、内定致シテ居リマセヌ

○翠川鐵三君 尙ホ重ネテチヨット御注意旁、承ツテ置クノデスガ、此ノ箇所ノ關係ニ付テハ本會ニ至テハ隨分議論ノアルコトデアラウト思フ、若シツレガ大概ニ御定リナツタナラバツレヲ御示シニナツテ、サウシテ地方ノ便利ヲ圖ルト云フコトニ付テ參考ニ御供シニナツタナラバ、一層ノ便利デアラウト思ヒマス、御注意旁、申述ベテ置キマス、ツレカラ此地方ノ支部ノ關係デアリマス、此地方ノ支部ト云フモノニ付テ、今後豫審事務ノミヲ專ラ取扱ハセルト、ツレカラ一般裁判事務ヲ取扱ハセルト、又箇所モ區々ニ分レヤウト思フ、是等モ内定ニナツテ大概御見込ミガ着イテ居ルナラバ、大概區裁判所ノ事務ヲ取扱ハセルヤウニ或ル點マデハ御内示ニナツタ方宜カラウ、委員會モ其考ヘテ調査シ、一般ノ議員モ亦タ調査スル必要ガアルト思ヒマス、其取調ベニナツタモノガアルナラバ、之レモ尙ホ御示シテ願ヒタイ、今即席御答ヲ請ハストモ宜イ、左モナイト此中央ノ此區裁判ノ關係ヲ見ルト、ツレカラ地方ニ於テ實際ニ立入ル問題トハ、大ニ其趣ヲ異ニシマスカラ、加之此行政整理ノ皮切リトシテ、此問題ヲ御提出ニナツタ其主義ニ於テハ徹頭徹尾贊成デアリマス、贊成デアリマスアレドモ、地方多數ノ人民ノ便否ト云フコトニモ亦大ニ考慮セバナラヌ問題デアウト思ヒマス、ツレハ併セテ唯今ノ支部ノ關係、區裁判所ノ關係等ニ於テハ、成ルベク此場合ニ於テ明カニシテ、サウシテ本案ノ通過ヲ望ミタイ次第デアリマス、御注意ニ兼ネテ請求ヲシテ置キマス

○法學博士花井卓藏君 控訴院ノ廢止分合ト云フヤウナコトニ付テノ當局ノ御注意ハナカタンデセウカ、衆議院ニハ屢々其控訴院ヲ廢止シテ某控訴院ニ合ハスナド、云フ問題ガ現ハレテ居タノデアツテ、區裁判所ノ廢止分合ト云フヨリハ、行政整理ナドト云フ場合ニ於テハ得ルトコロハ餘程多イデアウト思フ、又今日ノ交通機關ノ備ツタ場合ニ於テ、某々ノ控訴院ノ如キモノハ寧ろ無用デハナイカト云フノ感モ起ルノデアアル、土地ニ於テハ土地ニ偏センケレバナラヌガ、公平ノ眼カラ見タナラバ、區裁判所ナドト云フモノヨリハ寧ろ其大キイ點ニ於テ金モ減リハシナイカ、ツレカラ左程又不便モ感ジハシマイカト云フヤウナ考ヲ私ハ持ツテ居リマスガ、サウ云フ御詮議ハナカッタノデセウカ

○政府委員(法學博士小山溫君) 此度調ベマシタノハ一面ニ經費ノ節約ト云フコトヲ目當ニシマシタノデゴザイマスカラ、イロ／＼調ベテ見マシタ、ツレデ控訴院ノ廢止ト云フコトニ付テモ調ベテ見マシタガ、誠ニ控訴院ヲ廢止シマシテモ、政府ノ節約シ得ルトコロハ極ク少ナイ、二百萬カ四百萬位シカ違ハナイ、事務ガ減リマセヌノデスカラ、廳舎ト院長檢事長ダケノ問題ニナリマスカラ……

○政府委員(法學博士小山溫君) イヤツレハ申シマスマイ——イヤニツデス

○法學博士花井卓藏君 ツレハ算盤ガ違ッチャ居ラナイカ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) チヨット尙ホ附加ヘテ置キマスガ、控訴院ヲ廢止シマシテモ、今二箇所廢シマシテモ、其場所ニハ支部ヲ置キマシテ事務ヲ取扱ハセルノデアリマス

○岩崎總十郎君 是ハイツカラ實施ナサル御見込デアリマスガ

○政府委員(法學博士小山溫君) 實施ノ期ハ未ダ定メテ居リマセヌガ、併シ成ベク早ク行ヒタイ積リデハ居リマスガ、免ニ角裁判所ノ大改革デゴザイマスカラ、早クトモ三月位ハ準備ガ要ラダラウト思ヒマス

○法學博士花井卓藏君 是ハ政治上ノ問題デスカラ、大臣ノ意見ヲ伺フノガ至當デアラウト思フ、而シテ事ハ全體ニ關スル大問題デアリマスカラシテ、參考ノ爲ニ伺ツテ置キタイノデスガ、此案ハ唯今ノ御説明ニ依ルト行政整理、即チ節約ヲ主トシテノ案デアルト云フコトヲ言明セラレタガ、ツレハ此度ノ内閣ノ政綱ノ一部ノ實行ニ係ルモノト見ラレ各省トノ關係ハ全ク見ル所ニアラズ、我レ率先シテ之ヲ行フト云フノデアツテ、本案通過スレバ他省ハ恬トシテ願ナイ場合ニ於テ、司法省ダケハ能ク之ヲ行フ勇氣アルヤ否ヤ、之ヲ御尋ネシタイ

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 大臣ハ居リマセヌガ、次官デモ宜シイデスカ

○法學博士花井卓藏君 次官デモ答ヘラレナラ宜シイ

○政府委員(法學博士小山溫君) 是ハ各省ノコトハ存シマセヌガ、今回提出致シマシタノハ經費節約ト云フコトモ大目的ニハ相違アリマセヌガ、裁判所改善或ハ上告統一テアルトカ、裁判官ヲ五人ニスルトカ云フコトハ司法省多年ノ宿題デゴザイマシテ、同時ニ其解決ヲ付ケル、其ノ解決ヲ付ケルト同時ニ節約ニナルノデゴザイマスカラ、他省ノトハ多少趣ヲ異ニシテ居ルカト思ヒマス、即チ實行スル積リデアリマス

○黑須龍太郎君 何デスカ、區裁判所ノ權限ガ擴張ニナルニ連レテ、區裁判所ノ改築トカ増築トカ云フコトハアリマスガ、其費用ガアリマスガ

○政府委員(法學博士小山溫君) 二箇所バカリ少シ手入レフスル所ガアル積リデアリマス

○法學博士花井卓藏君 東京區裁判所ハドウナリマスガ

○政府委員(法學博士小山溫君) 東京區裁判所モ其一デゴザイマス

○黑須龍太郎君 其他ノ箇所ハ何處デスカ

○政府委員(法學博士小山溫君) 他ノ箇所ハ大阪デアッタカト思ヒマス

(此間速記中止)

○委員長(法學博士鵜澤總明君) 質問ハモウ宜シウゴザイマスガ、一括シテ……

(「宜シウゴザイマス」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鵜澤總明君) ツレデハ討議ハ追テ他ノ日ニ致シマス、今日ハ是デ散會

午前十一時四十六分散會